

研究テーマ「読む学習を通して、論理的に考える子どもを育てる国語学習」  
～考えさせる手だての工夫～

読み取りの基本となる国語の学習を中心に、筋道を立てて考えられる子どもを目指しての研究を2年計画の1年目として、始めました。

(1) 研究の内容

文章を子ども達が論理的に思考していく場を考えていく。国語の授業の中で、あるいは、日常の活動の中で「考える場」を設定できるように研究をしていく。

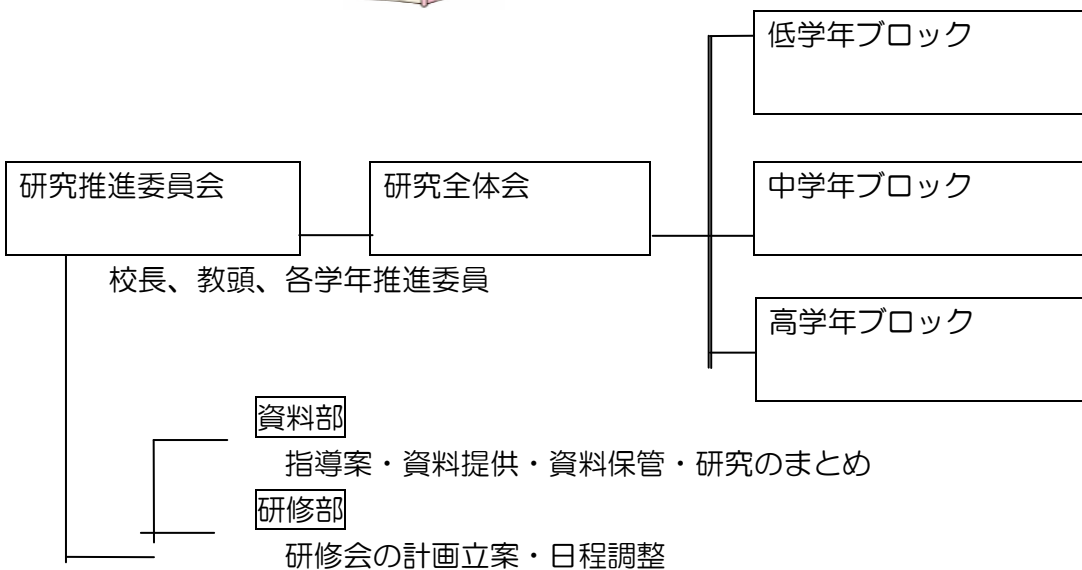
(2) 研究方法の概要

国語科の読む学習を中心に説明文や物語文の教材研究を行う。(主題や主旨、発問や板書の仕方、主題や要旨に迫るための手立て、評価等)  
教材研究をしながら、授業研究をして検証していく。

(3) 研究推進体制

筑波大附属小学校のスーパーバイザーの先生を中心に外部からの指導の先生に指導を仰ぎながら研究を進める。校内では、各学年1名の推進委員を中心に話し合いを進める。

<研究組織>



(4) 2008年度の授業計画

- 6月17日(火) スーパーバイザーの先生の授業・4年 説明文「ほたるの一生」
- 7月15日(火) 第1回研究授業・4年 詩「水平線」
- 9月26日(金) 第2回研究授業・2年 物語文「くまーぴき分はねずみ百ぴき分か」
- 10月28日(火) 第3回研究授業・4年 詩
- 11月13日(木) 第4回研究授業・3年 説明文「年の始まり」
- 12月22日(月) 第5回研究授業・6年 「連詩をつくろう」
- 1月27日(火) 第6回研究授業・5年 物語文「父ちゃんの凧」
- 2月3日(火) 第7回研究授業・1年 物語文「ろくべえまってるよ」